

国際貨物上屋拡張へ

■新千歳空港

北海道エアポートは新千歳空港国際貨物ターミナル（SIACT）の上屋拡張工事に着手、12月上旬の供用開始を予定している。荷捌きスペースを充実させ、新千歳空港における主力貨物の生鮮をはじめ、輸出貨物の取り扱い品質をさらに向上させる。



新千歳空港の国際貨物上屋の機能が向上する（手前が施設拡張部分）

国際貨物ターミナル輸出上屋前面への荷捌き用上屋の拡張工事を11月30日にかけて実施する。施設は鉄骨造り平屋建て（862平方メートル）。工事件名は「新千歳空港国際貨物ターミナル上屋拡張工事」。北海道における国際航空貨物の拠点空港としても機能している新千歳空港で、生

鮮など国際貨物取り扱いのオペレーション品質を高め、物流サービスを一層強化する。

北海道エアポートは2019年8月23日の設立。20年1月に北海道内7空港（新千歳空港、稚内空港、釧路空港、函館空港、旭川空港、帯広空港、女満別空港）の旅客ターミナルビル・

貨物施設などの運営に着手した。

20年6月には新千歳空港、20年10月に旭川空港の空港運営事業を開始した。さらに21年3月には稚内空港、釧路空港、函館空港、帯広空港、女満別空港の空港運営事業を開始。北海道内7空港を一括運営している。